

環境問題における 真の持続可能性： 多様な森林環境問題

講演者：加藤 剛氏

(住友林業株式会社 資源環境事業本部 副本部長 兼 脱炭素事業企画室 室長)

研究者として企業人としてインドネシア西カリマンタンをはじめとして森林保護に取り組んできた加藤氏に、森林伐採や森林火災に留まらない環境問題について、その実情、現地政府や国際社会の取り組み、その問題点、そして企業としての取り組み方について講演していただきます。SDGs にもまとめられた持続可能性の真の意味を考える良い機会となるでしょう。



日時：2022年10月25日(火)
13:10～14:40

会場：3-202 教室

形式：ハイフレックス(対面&Zoom)

司会：高地 薫先生

(本学外国語学部アジア言語学科准教授)

※参加申込みは **KUIS アカウント**にて右記 QR コードから →
ハイフレックスでの開催のため、一般参加の方は申込フォーム
にて「対面参加」「オンライン Zoom 参加」をお選びください。

参加申込み



京都大学で森林生態学を学び、インドネシア・スマトラ島のジャンビ地区で商業伐採後の熱帯林の回復過程を理解するために5年間の現地調査を実施。

2006年4月に住友林業株式会社入社、2010年からインドネシア西カリマンタン州の関係会社である PT Wana Subur Lestari、PT Mayangkara Tanaman Industri、PT Kubu Mulia Forestry (2020年追加)にて12万ha以上の劣化した泥炭地で植林事業に携わってきた。2022年より現職。

熱帯林業における木材生産性と生物多様性の相互関係の探究に取り組み、泥炭地の生態系への影響を軽減しながら木材生産性を高めるための統合技術及び科学的根拠に基づく泥炭地管理システムを開発。10年以上にわたり、スマトラ島と西カリマンタン地域でフィールド調査を行ってきた。

また、2021年4月に出版された書籍「熱帯泥炭地の持続可能な管理に関する3つの章をまとめ、各章では、熱帯泥炭地におけるエコマネジメントの原則を、その大規模な実践例とともに解説している。



神田外語大学 グローバル・コミュニケーション研究所

〒261-0014 千葉市美浜区若葉 1-4-1 TEL/FAX: 043-273-2324 E-mail: gci@kanda.kuis.ac.jp